

よにんめ 四人目

高森高校 福山 春

私には家に帰ると天使が待っています。今年の二月に産まれた妹です。私は四姉妹の長女で、三女も小学校六年生なので、久しぶりに新しい妹ができました。妹が生まれたことで今の家庭はとても明るく毎日が楽しいと同時に、多くのことを学びました。

母が妊娠したことを家族に告白したのは去年の七月でした。晩御飯を食べ終わり、いつものようにテレビを見て過ごしていた時のことです。母が

「ちよつと見せたいものがあるんだけど。」

と言って子ども三人を呼びました。その時に見せられたのが、お腹にいる赤ちゃんの写真でした。私はとてもうれしくて泣きそうになりました。妹二人は号泣でした。私はてっきり嬉しいニュースだと思ひ、母に

「よかったね。」

と告げました。しかし、母は、

「あなたたち三人は産んでほしい？」

と聞いてきました。後から聞くと、母は年齢や体力を不安に思い、父にも言わず一人で悩んでいたそうです。そのような母に私は強い覚悟を感じました。でも私たちは産んでほしいと言いました。その後、私たちの言葉を受け入れ、産むことを決めてくれたので、すごく嬉しかったです。

出産の際、私は立ち合いをしました。妹が産まれた瞬間のことは、今でも鮮明に覚えています。改めて母の強さを感じた場面でも

ありました。そして、母にとつて父の存在の大切さも伝わりました。いつもは不思議な父ですが、あの瞬間ほど父らしく見えた時はありません。父と母のおかげで今、あの天使がいるのですごく感謝しています。本当にありがとうございます。

現在四女は、もうすぐハイハイを始めるところまで成長しました。私は就職したら家を出る予定なので、あと一年半くらい全力であの天使を拝み、いっぱい遊びたいです。

※ 妹の誕生に際し、純粹な喜び、母親・父親への尊敬の念、命の大切さなど、多くのことを感じ、学ぶことができたようです。どの家庭でも命が大切に育まれており、人として生きる権利が侵されてはいけないものであると、私自身再認識させられました。今回の経験で春さんは、これまでに以上に自他ともに大切に思う気持ちを強くしたと思います。